

An illustration showing several stylized human figures in business attire interacting with large, 3D puzzle pieces. The pieces are in various colors (red, yellow, green, blue) and are arranged in a way that suggests they are being assembled or moved. The background is white.

ワーケーション×ビジネス×関係人口

 ISCO 一般財団法人ITイノベーション戦略センター 兼村光

沖縄における長期滞在型テレワーク の受け入れ体制構築事業



関係人口

企業は
地方をどう活用するか？

事業開発
実験フィールド

エンゲージ
メント対策

CSV
ビジネス

etc

企業価値
競争力の向上
(経営・事業開発)



**サテライトオフィス
(リモート型企业進出)**

**ソーシャルビジネスの
立ち上げ**

地域課題をビジネスを通じて解決する

シビックテックの促進
オープンデータの利活用
etc

地域との**共創**
機会を提供

地方は
企業をどう活用するか？

足りないノウハウの誘致
都会と地方のリソースのシェアリング

ビジネス
インキュベーション
(産業創造)

= 関係人口化のポイント =
地域課題の共有・明確化

共創によるスキルトランスファー
(都会→地域のノウハウ共有)
高付加価値型ビジネス／人材育成含む企業経営／他

人材育成の機会
(人事)

現在

ワーケーションの促進

R3年11月 ワケーションウィーク開催

ハッカソン

越境学習

(例：スタディツアー)

交流イベント

地域を**深く知る**
機会を提供

コアなファン化
(関係人口のシーズ)

リフレッシュ機能
(総務)



**ビジネスワーケーション
(中短期滞在)**



滞在期間中の
経済効果

交流人口



A portrait of Yuka Tsukita, a woman with dark hair pulled back, wearing a teal top and large gold earrings. She is smiling and looking to the left. The background is a dark, textured grey.

月田有香

Yuka Tsukita

株式会社MAIA
代表取締役社長

兵庫県生まれ、関西学院大学卒業。コンサルタント会社勤務後、役者に転身。2017年、株式会社MAIAを設立。RPA導入企業向けの開発、運用支援などのソリューションを提供。RPA技術者育成を目的にRPA女子プロジェクトを立ち上げ。

転載：<https://newspicks.com/news/5027844/body/>

hanaわらび

<営業日>

月・木・金

11:00~19:00

土・日

11:00~17:00

<定休日>

火・水・祝日

プログラミング

ものづくり

イベント

Hanaわらびとは

Hanaわらびとは、多世代向け教育プログラムの実施拠点です。
子ども向けプログラミング教室を中心に、ものづくり、イベント
など、様々なプログラムを用意しております。

それぞれを通して、
子ども・学生・大人・シニア、
全ての世代にとっての
居場所となり、
可能性が広がる場づくりを
行っています。



About SAP SE / SAP Japan プレスルーム / 企業情報

沖縄市に、多世代向け教育プログラムの実施拠点「Hanaわらび」を開設、地域教育を支援

April 2, 2021 by SAP News



県内で女性IT人材育成へ

沖縄市拠点、ひとり親支援

MAIA（東京）

全国で100人の実績

IT人材育成やコンピュータリテラシー講座を開発を手掛ける、MAIA（マイア、東京、月田有香社長）は、女性IT人材の育成に注力する。パソコンの定額作業を自動化する「RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）」のプログラムを開発・提供のサポートを、県内自治体や企業に提供し、IT人材の育成を支援する。

2020年度の育成人数の目標は、テレワークの推進による需要で、県内約120人とし、県内の女性IT人材の育成を支援する。MAIAの収入は、月田氏は昨年、東京都での



女性IT人材の育成に注力するMAIAの月田有香社長（左）

「ワーケーション」を通じて、沖縄に移住した。沖縄に對するイメージは、いいイメージがなかった。県民との交流を通して、沖縄が抱える社会的な課題なども多く学んだ」と振り返った。

社会課題の中でも、特にシングルマザーや女性の低所得者層が目した。女性経営者として、これまでも女性のキャリアアップに携わってきた月田氏は「社会課題を解決するには、女性の就業の仕事を支援する。IT人材の育成を支援させることが重要だ」と認識する。

MAIAは、2019年に設立し、これまで全国で約100人の女性のRPA技術者を育成してきた。県内にも現在約10人いるという。今後、沖縄市に研修所を設け、事業展開に必要な技術者の育成を支援する。

県内でRPAの導入・活用を支援に必要なスキルを備えた女性エンジニアを育て、自治体や企業にRPA導入を推進していく。月田氏は「業務の効率化を図るにはRPAの導入が必要だ。特に県内の役所などでは、業務がまだ多く残っており、業務も多いと聞いている」と語った。

（西園寺）

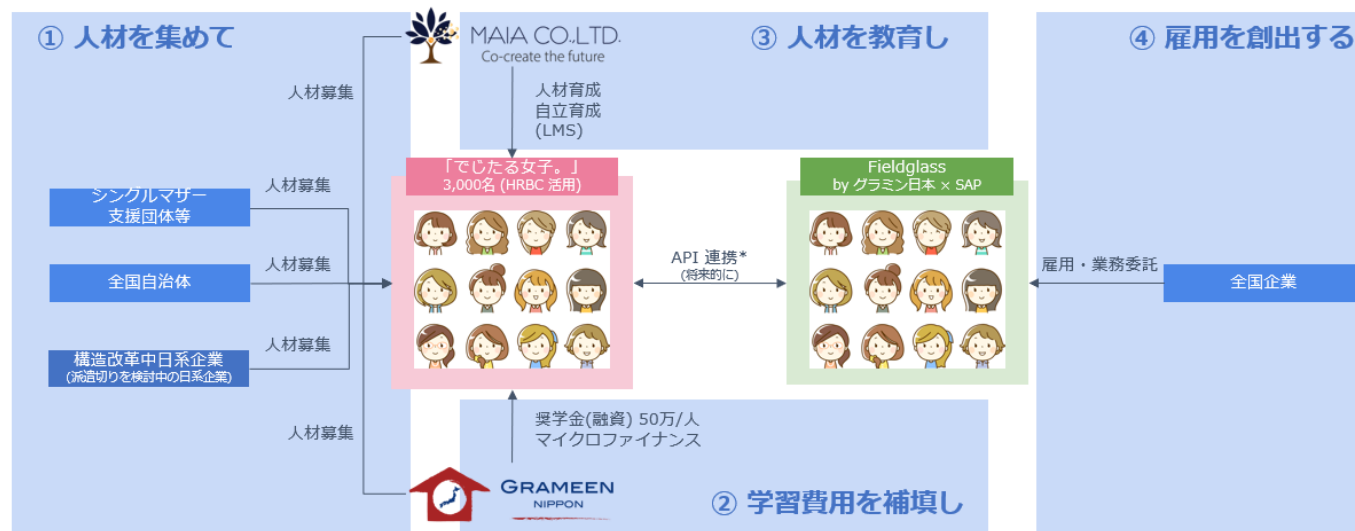
グラミン日本、SAPジャパン、MAIA、 「でじたる女子」プログラムの提供開始

～コロナ禍において就労機会を失ったシングルマザーを含む女性への経済的自立を支援～

シングルマザーを含む女性を対象に、MAIAが提供するe-Learningを通じて「RPA」、「AI-OCR」、「CAD」、「デジタルマーケティング」などニーズの高いIT関連スキルの習得機会を提供。

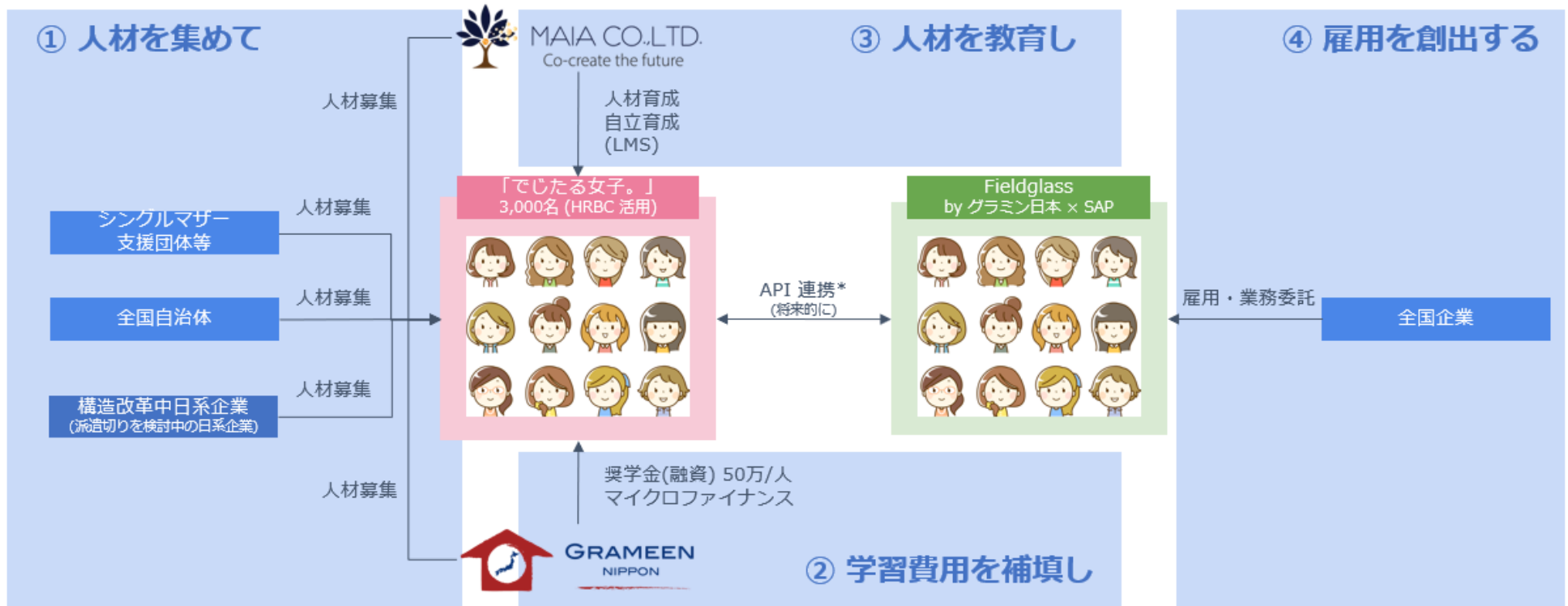
その後、グラミン日本とSAPジャパンが提供するSAP Fieldglassを活用し、対象となる女性と提携している企業との雇用機会のマッチングを行う。

グラミン日本は、本プログラムを利用する女性向けに、無担保での少額融資、金融教育を提供。

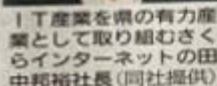


グラミン日本、SAPジャパン、MAIA、 「でじたる女子」プログラムの提供開始

～コロナ禍において就労機会を失ったシングルマザーを含む女性への経済的自立を支援～



ワーケーション 沖縄に新たな企業誘致
移住 遠隔経営を实践



さくらインターネット
田中 邦裕社長

データセンター運営のさくらインターネットは1996年に、当時、舞鶴工業高等専門学校の学生だった田中氏が創業した。ウィンドウズ95の登場などでインターネットの利用が広がる時流に合わせ、国内を代表するスタートアップ企業として成長してきた。

料金が高まってきているので、賃貸した方が沖縄に滞在できる日数をも長くなる」と考え、2019年に那覇市内に賃貸物件を借りた。沖縄滞在用の賃貸物件を借りた後も、しばらく大阪や東京の事務所に出社していた。そこに新型コロナウイルスの感染拡大で、昨年初めからは東京の自宅からの在宅勤務に切り替わった。東京の家からリモートワークなら、沖縄にいても変わ

らない。沖縄に住まいを移して本格的にリモートワークを始めた。現在、県内でコワーキングスペースを借りており、社員らが県内でもリモートワークでできるよう支援している。田中氏は「リモートワークは子育ての人も働きやすい。わざわざ東京に行かなくてもいい」。

田中氏は「東京と同じ資金で
用すると、高いレベルのエンジ
アも沖縄に來てもらえる。一十
タートアップで新しい雇用が生
れれば、沖縄は変わってくる」と
話し、「スタートアップが集まる
場所を作っていくには、行政や
行など関係機関で取り組まない
いけない」と強調した。(呉勇

ワークの利点を語る。

田中氏は現在、スタートアップの県内誘致などを図る「沖縄ワークション研究会」の一員として、県内の有望スタートアップに投資を進めている。田中氏は、観光業と比べ、世界情勢の変動に影響されにくいIT産業に着目すべだと指摘。「沖縄は基地の撤去を訴えているが、まずは県内に産業を作り、県民の所得を上げたい」といふ。観光業がいかにないといけない。観光業がいかにいいか、観光×ITのスタートアップが期待できる」と語る。

これまで高度のIT人材が沖縄に集まらない理由の一つに、賃金の低さを挙げる。県内のIT企業の業務は下請けの比率が高く、従業員の賃金も上がらない構造があるとする。

コミュニティ結成へ

起業家への支援や投資などを主
 体とする日本スタートアップ支援協
 会（大阪、岡田隆平代表理事）が連
 繋する「神楽坂ウェビュレーション研究
 会」は、昨年内にも県内でスタート
 アップ（新興企業）が集まる「コミ
 ュニティー」「コラールバレー」（仮
 称）をつくり、スタートアップの
 開拓を目指す。コミュニティは
 は基本的にオンラインで結成する
 が、起業などに際するセミナーな
 どが開催できる場所をの速利便性
 が高い都県市内に設置する計画も
 ある。



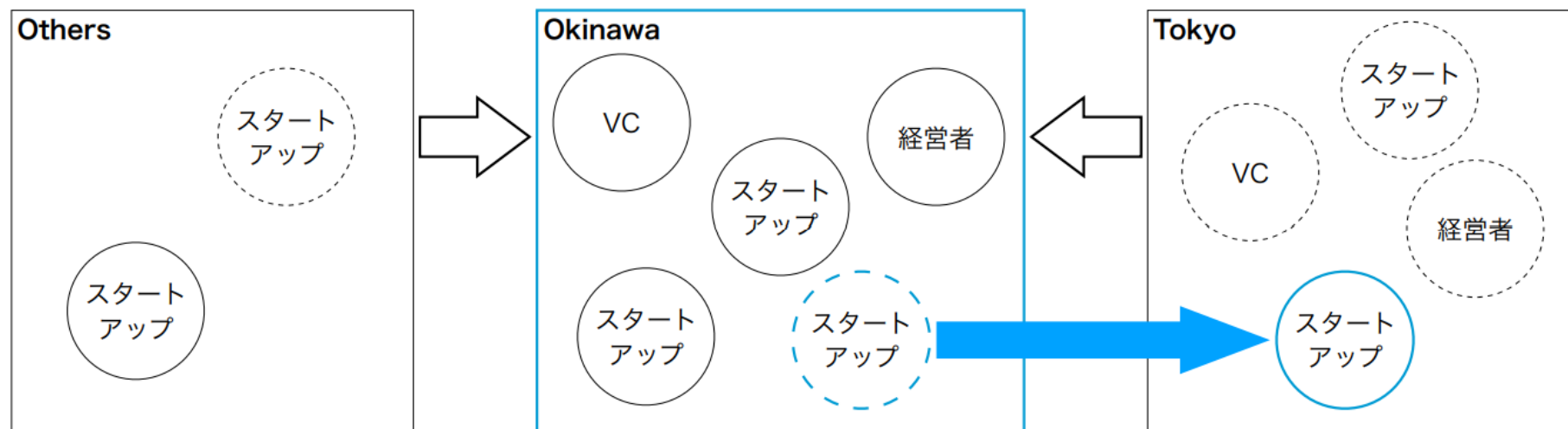
日スタートアップ支援協会の
開会式では、ドコモスポンサーを
兼ねた「東京大学ベンチャー・イ
ンベステメント」が、「これ
まで全国各地で開催しており、こ
れを県内でも初め開催したい」と
う。昨年12月からは家族と県内でフ
リーセッションしており、「仲間
で出会う起業家は揃っている人が多
い。少し静かに見て近くで見てみ
たいと思うので、結構でリキートワ
ークを決めた」と張り返った。
花魁座とトライアゲイを持つ岡氏
は「仲間には花魁がない、雰囲気も高
いため、仕事の質が良くなった」と
と、県内でのフリーセッションの利
点を語った。

元上場企業の代表でもあった岡
氏は「スタートアップが東洋など
の大都会に集中しているのが良く
ない。大企業などが来るよりスク
も高い。地方創生の一環で、いい
人材がたくさんいる仲間にもっと
多くのスタートアップに来てほし
いと願った。

東京や大阪から来ると思ひの一つが、同じスタートアップと相談ができるコミュニティがないことだという。岡氏は「新しいことをチャレンジしたい」と言ひ、相談相手が見つかる。仲間と安心・安全な交渉場所があれば、経営にもつながるだろう」と話し、今後スタートアップの支援を続ける姿勢を明けた。

コーラルバレー構想

イベント等をフックとして**VCやEXIT経験経営者を沖縄**に集め、密な空間を創出。
また、**県内スタートアップも積極的に東京に送り出し**、より迅速な成長を期待。



見えて来た、地域側で必要な取り組み。

